

令和元年度 日向市立財光寺南小学校 学校評価

評価段階 A とてもよい B だいたいよい C もう少しである D あまりよくない

	重点目標	自己評価等						分析及び改善策等	学校運営協議会委員の御意見と評価
		対象	A	B	C	D	評価		
確かな学び	1 分かりやすい授業に向けた手立ての工夫	児童	58.8	34.1	4.8	2.3	3.5	○ AB評価が概ね90%以上となっているが、C、D評価の児童が7.1%（前年12%）であることや各種テスト等の結果から、今後も学力向上のために個々に応じた分かりやすい授業に努める必要がある。 ☆ 教師は、授業に対するチェックポイントをもって授業に取り組んでいる。教師間の相互授業参観や授業力向上の研修に努めている。	・今後も、大変だが教師の努力・工夫を期待している。先生方も創意工夫していることが分かった。今後も努力を続けて欲しい。 ・児童保護者の評価も高くよいと思います。 ・視覚に訴えかけるような工夫を取り入れた学習が行われているのでよいと思う。
		保護者	37.6	58.3	4.1	0.0	3.3		
		職員	17.6	76.5	5.9	0.0	3.1		
	全体						3.3		
2 望ましい学習習慣の定着に向けた手立ての工夫【教師と保護者】と実際【児童】	児童	32.3	43.3	19.6	4.7	3.0	○ 学習中の姿勢（ピン、ベタ、グー）や発表などのC、D評価の児童が24.3%（22.6%）と多く見られる。A評価を増やしていくことが学力向上の観点からも必要である。 ☆ 学級での姿勢指導や給食時間に姿勢の良い児童の紹介等を行っている。今後も家庭と連携し、一貫した指導を継続して取り組んでいく。	・児童の評価が低いということからも家庭との連携した取組を推進して欲しい。 ・学校と家庭が連携し、家庭習慣の定着に努めていくことが大切である。 【確かな学び】全般について ・グランドデザインを基に具体的なアイテムを各学年で検討して欲しい。子どもが興味を持つような手立ての工夫をお願いします。	
	保護者	50.0	46.8	3.2	0.0	3.5			
	職員	23.5	64.7	11.8	0.0	3.1			
全体						3.2			
3 家庭学習の習慣化に向けた手立ての工夫【教師、保護者】と実際【児童】	児童	75.9	16.7	5.9	1.5	3.7	○ AB評価は、90%以上であるが、A評価については、昨年度を下回っている。（保護者57.7%、職員50%）取組や内容に個人差がみられることから、学校、家庭での手立ての工夫が必要である。 ☆ 児童に「学び方」をしっかり身に付けさせる指導の徹底と参観日や通信等を活用して、家庭への啓発に努めていく。	・学校と家庭が連携し、家庭習慣の定着に努めていくことが大切である。 ・児童の評価が高いので、今後も学校、家庭での取組を充実させて欲しい。 ・児童と職員との差が大きいため、その原因を見極めて、この差が小さくなるような工夫に取り組んで欲しい。	
	保護者	42.8	50.2	6.5	0.5	3.4			
	職員	29.4	64.7	5.9	0.0	3.2			
全体						3.4			
4 読書習慣の定着に向けた手立ての工夫	児童	45.2	30.9	14.6	9.3	3.1	○ AB評価が80%以下で、本校の重点課題の一つである。読書習慣について個人差があり、C、D評価を減らすための学校や家庭での取組がさらに必要であるといえる。 ☆ 読書タイムや読書週間など、読書に親しむ場の充実と家庭との連携を図る。また、「読み聞かせ」ボランティアの実現に向けて取り組んでいく。	・児童のD評価が多いのが気になる。今後もPTAの取組の充実と地域の「読み聞かせ」等の協力が必要であると思う。 ・読書以外の楽しみが増えてきている現実がある。親が読書しなくなったことも要因の一つではないか。新聞などを読む必要は大きいと思う。 ・「読んでもらった」という体験が必要なので、たくさん読み聞かせの経験ができればよいと思う。	
	保護者	24.0	42.1	28.8	5.1	2.9			
	職員	12.5	62.5	25.0	0.0	2.9			
全体						3.0			
豊かな心	1 元気な挨拶や会釈の定着のための手立ての工夫	児童	62.1	27.0	7.5	3.4	3.5	○ 児童と保護者、職員のA評価に差が見られる。また、保護者のA評価が昨年より大きく下がっている。（昨年52.8%）あいさつするべき時と場についても指導する必要がある。 ☆ 朝の「あいさつ運動」の取組を普段の生活に生かすよう指導していく。また、地域との連携からも充実を図るよう取り組んでいく。	・よくなってきていると感じる。子どもたちが自分から進んでできるようになってくるとおおい。 ・あいさつ運動の広がりを期待する。保護者にもできる範囲で関わりを持って欲しい。 ・あいさつは、大人から先に声をかけている感じがします。 ・家庭での実践も不可欠だと思う。どのようにアプローチしていくかの工夫を考える必要である。
		保護者	42.6	45.7	10.6	1.1	3.3		
		職員	23.5	70.6	5.9	0.0	3.2		
	全体						3.3		
2 温かい人間関係づくりに向けた手立ての工夫	児童	74.8	20.9	3.2	1.1	3.7	○ 児童の評価は高く、良好な人間関係づくりが築かれているといえる。しかし、C、D評価の児童も見られるので、この数値を0にしていこうための努力が必要である。 ☆ 「道徳」の授業や体験的な活動を充実させるなど、好ましい人間関係づくりの充実に取り組んでいく。また、アンケート等を通して、個別の指導や支援に全職員で取り組んでいく。	・学校だけではなく地域、家庭教育の充実が必要である。 ・児童館の人間関係は、おおむね良好だと思う。 ・子どもたちの評価が高く、人間関係はよいのではないかと思います。 ・今後も一人一人に応じた指導をお願いします。	
	保護者	34.7	51.9	11.8	1.6	3.2			
	職員	23.5	70.6	5.9	0.0	3.2			
全体						3.4			
3 規範意識や思いやりの心、基本的な生活習慣（スリッパ並べ、廊下歩行等）の定着	児童	59.4	31.6	7.6	1.4	3.5	○ AB評価は概ね肯定的である。しかし、A評価を高めるために、スリッパ並べや廊下歩行等、共通理解、協働実践によって児童の意識をさらに高める必要がある。 ☆ 「道徳」を核とした心の教育と体験的な活動の充実を努めていく。また、上級生を中心に、児童自らが問題解決に取り組むような教師の働きかけを行っていく。	・学校だけではなく地域、家庭教育の充実が必要である。 ・家庭での習慣づけ（玄関での靴、スリッパなど）を図っていただくことが大切である。 ・子どもたちの意識差が見られるので、取組について子どもたちにもしっかりと理解させて取組むようにすることも大切である。	
	保護者	35.6	57.1	6.3	1.0	3.3			
	職員	12.5	81.3	6.3	0.0	3.1			
全体						3.3			
4 特別支援教育の充実	児童	/	/	/	/	/	○ 全体的に肯定的な評価となっている。さらに、A評価を高めることで、児童一人一人に応じた教育に務めていく必要がある。 ☆ PTA総会や学校参観日等を活用し、特別支援教育の理解を深めていく。また、児童一人一人の理解に努め、必要な支援を行うとともに、保護者との教育相談の充実を努める。	・今後も継続して理解を深めていく取組を行って欲しい。 ・保護者の評価も高くよいと思う。 【豊かな心】全般について ・豊かな心づくりは、家庭と地域に委ねる部分が多く個々の性格も異なることから難しい課題だと思います。「ありがとうございます」「申し訳ありません」など素直に言える家庭、学校の雰囲気づくり努めて欲しい。	
	保護者	42.3	52.9	4.8	0.0	3.4			
	職員	29.4	58.8	11.8	0.0	3.2			
全体						3.3			

健康・安全	1	運動や戸外での運動遊びの奨励	児童	74.0	17.2	7.0	1.9	3.6	3.4	<p>○ 全体的に評価は高く、昨年よりD評価が減少している。今後もA評価を高めるための取組や工夫・改善が必要である。</p> <p>☆ 本校の「体力向上プラン」の取組により、体育の授業や昼休みの遊びなどを通して、運動の楽しさを味合わせるようにしていく。また、本校の課題である筋力、及び瞬発力の向上に努めていく。</p>	<p>・スポーツ離れ、外遊びの減少は顕著であると思う。晴れた日は、外で遊ぶよう声をかけている。</p> <p>・今後も外遊びの励行に努めて欲しい。</p> <p>【健康安全】全般について正しい食生活については、保護者への呼びかけをパンフレットや学級通信などで繰り返し行って欲しい。学校では、規律決まりを守らせる必要性、時間を大切に取る取組等の努力をお願いします。また、子供の体調について、十分に気配りするようにお願いします。</p>	4.0
			保護者	41.3	53.2	5.5	0.0	3.4				
			職員	43.8	43.8	12.5	0.0	3.3				
	2	早寝・早起き・朝ご飯の定着に向けた手立ての工夫	児童	50.0	34.6	11.5	4.0	3.3	3.2	<p>○ 職員は、朝の児童の様子から、早寝早起きが十分でないと感じている。メディアとの付き合い方等、家庭との連携を深めることが必要である。</p> <p>☆ 小中連携の取組であるメディアコントロールの充実を図り、参観日等での家庭への啓発、学校保健委員会の充実等、今後もあらゆる機会を生かして取り組んでいく。</p>	<p>・メディアコントロールについて保護者に理解を深めてもらうための工夫が必要だと思う。</p> <p>・朝食の必要性について今後も伝えていくことが大切である。</p> <p>・家庭教育の充実に努めて欲しい。</p> <p>・保護者の生活習慣も少なからず影響していると思う。</p>	3.3
保護者			40.9	53.5	5.4	0.2	3.4					
職員			12.5	50.0	37.5	0.0	2.8					
3	給食指導や弁当の日の取組による望ましい食習慣の育成	児童	75.0	17.0	5.9	2.1	3.7	3.5	<p>○ A・B評価90%以上で、概ね肯定的な評価である。しかし、偏食や少食などの個人差も見られるため、家庭と連携し望ましい食習慣の育成を図る必要がある。</p> <p>☆ 年に3回の「弁当の日」を継続し、食への関心を高めるようにする。また、個々に応じた食育指導の充実を図ることで、児童の食への関心を高めるようにする。</p>	<p>・給食を一緒に食べさせてもらったが、みんなマナーがよかったです。</p> <p>・家庭でも好き嫌いをなく何でも食べるようにすることが大切である。</p> <p>・今後も学校での教育の充実に努めて欲しい。</p>	4.0	
		保護者	47.5	47.9	4.7	0.0	3.4					
		職員	43.8	50.0	6.3	0.0	3.4					
4	避難訓練、交通安全教室等、安全教育の充実	児童	72.5	23.2	3.2	1.2	3.7	3.4	<p>○ 防災、安全に係る評価は高い。しかし、防災に関しては、あらゆるリスクを想定しておかなくてはならない。危険を予測し回避する能力の向上に家庭と連携して取り組んでいく必要がある。</p> <p>☆ 学級での指導や避難訓練(練習)等により、命を守る教育の充実を図っていく。</p> <p>☆ 学校日より、ホームページ、通信等により地域との協働への働きかけに努めていく。</p>	<p>・学校で取り組んでいることを家庭でもしっかりと話し合っていくことが大事だと思う。</p> <p>・家庭での訓練(備え)に繋げていくことが大事。</p> <p>・今後も地域との連携を深めて取り組んで欲しい。</p> <p>・家庭でも防災等についての会話の機会を増やして欲しい。</p>	4.0	
		保護者	51.4	43.6	4.8	0.2	3.5					
		職員	23.5	58.8	17.6	0.0	3.1					
連携等	1	体験・ふれあい活動の推進によるキャリア教育の充実	児童	67.5	25.1	5.1	2.3	3.6	3.2	<p>○ 概ね評価は高く、児童は、地域の方々との学習を通して、地域のよさや課題を解決する力を身に付けている。今後も地域人材との連携を図っていく。</p> <p>☆ キャリア教育に関する情報発信や参観日等を通して、保護者への啓発に努める。</p> <p>☆ 教師の自己評価は低いが、さらに、学習活動の工夫・改善に努めていく。</p>	<p>・子どもは、育成会や少年団、保護者の影響を受けて積極的に地区行事に参加している。</p> <p>・とてもよい取組だと思う。今後も充実した取組の継続をお願いしたい。</p> <p>・地域との触れあいを今後も大切にしたい。</p>	3.8
			保護者	37.3	56.7	6.0	0.0	3.3				
			職員	20.0	26.7	53.3	0.0	2.7				
	2	学校経営や教育活動等についての情報発信	児童	/	/	/	/	/	3.2	<p>○ 保護者のAB評価は、89.2%であり肯定的意見が多い。しかし、学校の様子が分からない等の意見も見られた。今後も工夫・改善を図っていく必要がある。</p> <p>☆ PTA総会、参観日等に於いて、学校日より、通信、ホームページなどの情報発信についてお知らせする。</p>	<p>・学校での取組を分かりやすく発信する工夫等が必要である。</p> <p>・学級通信でほぼ行事に関する情報は得ることができている。ホームページの周知、紹介を向上させることで、紙媒体を見る機会も増える。</p> <p>・学校からの配布物は必ず目を通すようにすることが大切なので、そのための工夫を考えていきたい。</p> <p>・情報発信は十分にされている。理解してもらうための工夫が必要である。</p>	3.3
			保護者	41.9	47.3	10.4	0.5	3.3				
			職員	25.0	56.3	18.8	0.0	3.1				
3	参観日・学校行事の計画的実施と内容の充実	児童	/	/	/	/	/	3.3	<p>○ 保護者は、概ね肯定的評価となっている。A評価を高めるために、今後も保護者の意見を参考に工夫・改善に努める。</p> <p>☆ 保護者アンケート等を参考に、日程や内容の改善を図っていく。</p> <p>☆ 行事の日時、内容等について、より積極的な情報発信に努める。</p>	<p>・多くの保護者が参加できるような工夫を今後も取り組んで欲しい。</p> <p>【連携等】全般について</p> <p>・先生方も地域の催しや活動に参加し地域との身近なコミュニケーションを図られてはどうでしょうか。口調連合会も月一回開催されていますので、コミュニケーションのツールとしてはどうでしょうか。</p>	4.0	
		保護者	49.8	46.0	4.2	0.0	3.5					
		職員	25.0	56.3	18.8	0.0	3.1					
小中一貫教育	4	グランドデザインの理解	保護者	33.7	50.8	14.2	1.3	3.2	3.0	<p>○ 小中一貫教育に関する理解はあるが、グランドデザインについては、保護者の意見から、情報発信が不足していたといえる。また、その取組や成果についても広く発信していく必要がある。</p> <p>☆ PTA総会、参観日、学校日より、ホームページ、通信等で積極的な情報発信に努める。</p>	<p>・理解を深めてもらうための情報発信の方法などの工夫が必要である。</p> <p>・難しい取組ではなく、当たり前だが、当たり前前にできるようなグランドデザインを考慮してください。</p> <p>・保護者への情報発信に協力できるところはしていきたい。</p>	3.3
		グランドデザインの取組	保護者	28.5	57.4	13.7	0.5	3.1				
			職員	5.9	64.7	29.4	0.0	2.8				